

Musica poetica 2006

春の訪れも間近か、ムシカ・ポエティカでは季節の音楽を組み合わせた三つのプログラムを準備いたしました。

三月十七日(金)には復活祭一週間前の〈棕櫚の日曜日〉と呼ばれる日のために書かれたバッハのカンタータ一八二番「天の王よ、来たりませ」、ペルトの「鈴鳴り方式」による「スターバト・マートル」、受胎告知を受けたマリアが祭司ザカリヤの妻エリザベトを訪問し、エリザベトの胎内では、のちの洗礼者ヨハネが喜び踊った、という聖書記事に基いて作曲されたカンタータ二四七番「心と口と行いと生き方は」をお聴き戴きたいと思います。このカンタータでは有名なコラール「主よ、人の望みの喜びよ」が二回にわたって歌われます。

三月二十四日(金)にはドレスデンから復興の喜びに湧く聖母教会の室内合唱団をお迎えし、H・シュッツ合唱団・東京とともに「オルガンとア・カペラ」の夕べが開かれます。不思議なことに聖母教会室内合唱団とハインリヒ・シュッツ合唱団・東京は双方ともプロフェッショナルとセミプロフェッショナルの歌手から構成されており、メンバーの数もほぼ同じ、レパートリーも非常に似通っていましたので、これまでに体験したことのない珍しいプログラムを組むことが出来ました。両合唱団によるMレーガーの応詠に始まり、Ch・デマンツイウスの「ヨハネ受難曲」を軸としながら、その間を縫って初期バロックから後期ロマン派へかけてのモテットの傑作が次々に歌われます。また一昨年新しく設置されたカテドラルのパイプ・オルガン(マシヨニ)も聖母教会カントール、M・グリューネルトのソロによって様々な音栓の配合をお楽しみ戴けることでしょう。

三月二十五日(土)もドレスデン聖母教会室内合唱団とハインリヒ・シュッツ合唱団・東京の共演です。バッハのカンタータが教会暦に添って演奏されている本郷教会(上荻)の〈Soli Deo Gloria: ただ神にのみ栄光〉と題された「賛美と祈りの夕べ」におきまして、バッハのカンタータ第一番「輝く暁の明星」、第二八二番「天の王よ、来たりませ」にバッハのオルガン曲が演奏されます。カンタータ一八二番は二七四年の〈棕櫚の日曜日〉にワイマールで初演されたのですが、この日はたまたま三月二十五日、〈マリアへの受胎告知の祝日〉でもありました。バッハは、受難節にはカンタータ演奏が禁止されていたライプツィヒにおいて、この曲を〈マリアへのお告げ〉を祝うカンタータとして演奏したということです。今回奇しくも三月二十五日に演奏することとなり、この祝日のための二つのカンタータが選ばれました。ドレスデン・東京の二都市、また両合唱団の友情の記念として、またお聴き下さる皆様への感謝を込めて演奏に臨みたいと思います。

二〇〇六年 春

ムシカ・ポエティカ



2006/3/17[FRI] 7:00pm ハインリヒ・シュッツ合唱団・東京+ユビキタス・バッハ
BACH und PÄRT バッハとペルト
HEINRICH-SCHÜTZ-CHOR Tokyo & UBIQUITOUS BACH
東京カテドラル聖マリア大聖堂

2006/3/24[FRI] 7:00pm ドレスデン聖母教会室内合唱団を迎えてⅠ
Orgel und a-cappella オルガンとア・カペラ
KAMMERCHOR der FRAUENKIRCHE DRESDEN & HEINRICH-SCHÜTZ-CHOR Tokyo Ⅰ
東京カテドラル聖マリア大聖堂

2006/3/25[SAT] 6:00pm ドレスデン聖母教会室内合唱団を迎えてⅡ
Orgel und Kantaten オルガンとカンタータ
KAMMERCHOR der FRAUENKIRCHE DRESDEN & HEINRICH-SCHÜTZ-CHOR Tokyo Ⅱ
日本キリスト教団 本郷教会礼拝堂

HEINRICH-SCHÜTZ-CHOR Tokyo & UBIQUITOUS BACH

BACH und PÄRT

バッハとペルト

2006/3/17 [FRI] 7:00pm

東京カテドラル聖マリア大聖堂

文京区関口3丁目・椿山荘前

St. Mary's Cathedral, Tokyo

5000円(エリア指定)/4000円(自由)/¥3000(学生)

企画制作 ■ MUSICA POETICA

お問い合わせ

ムシカ・ポエティカ 03-3970-0585(T) 03-3998-5238(F)

菊田音楽事務所 042-394-0543(T/F)

1. J.S.BACH Kantate Nr.147

〈Herz und Mund und Tat und Leben〉

バッハ・カンタータ〈心と口と行いと生きかたは〉1723 BWV147

2. Arvo Pärt 〈Stabat Mater〉

ペルト〈スターバト・マートル〉

Soprano 淡野桃子 Momoko Tanno [Minneapolis]

Alto 依田 卓 Takashi Yoda

Tenore 淡野太郎 Taro Tanno [Leipzig]

Violin 永井由里 Yuri Nagai

Viola ダーヴィド・シッケタンツ David Schicketanz [Leipzig]

Cello 諸岡範澄 Norizumi Morooka

KAMMERCHOR der FRAUENKIRCHE DRESDEN & HEINRICH-SCHÜTZ

Orgel und a-cappella

オルガンとア・カペラ

2006/3/24 [FRI] 7:00pm

東京カテドラル聖マリア大聖堂

文京区関口3丁目椿山荘前

St. Mary's Cathedral, Tokyo

4000円(自由)3000円(学生)

企画制作 ■ MUSICA POETICA

お問い合わせ

ムシカ・ポエティカ 03-3970-0585(T) 03-3998-5238(F)

菊田音楽事務所 042-394-0543(T/F)

ドレスデン聖母教会室内合唱団

Kammerchor der Frauenkirche

オルガン・指揮 ■ マティアス・グリュネルト(聖母教会カントール)

Orgel und Leitung: Frauenkirchenkantor Matthias Grünert

ハインリヒ・シュッツ合唱団・東京

Heinrich-Schütz-Chor Tokyo

指揮 ■ 淡野弓子

Leitung: Yumiko Tanno

KAMMERCHOR der FRAUENKIRCHE DRESDEN & HEINRICH-SCHÜTZ

Orgel und Kantaten

オルガンとカンタータ

2006/3/25 [SAT] 6:00pm

日本キリスト教団 本郷教会礼拝堂

杉並区上荻4-24-5 03-3399-2730(T)

Hongo Kirche Kamiogi

2500円(自由)

主催 ■ 本郷教会 企画制作 ■ MUSICA POETICA

お問い合わせ

ムシカ・ポエティカ 03-3970-0585(T) 03-3998-5238(F)

菊田音楽事務所 042-394-0543(T/F)

Soli Deo Gloria Vol.213

教会暦によるバッハ・カンタータシリーズ

Mariae Verkündigung (25. März) 受胎告知の祝日のために

聖書朗読 ■ 廣田 登(本郷教会牧師)

1. J.S.BACH Kantate Nr.182 〈Himmelskönig, sei willkommen〉

バッハ・カンタータ〈天の王よ、来たりませ〉1714 BWV182

ハインリヒ・シュッツ合唱団・東京 Heinrich-Schütz-Chor Tokyo

指揮 ■ 淡野弓子 Leitung: Yumiko Tanno



ドレスデン聖母教会室内合唱団
Kammerchor der Frauenkirche



マティアス・グリュネルト
Orgel und Leitung
Matthias Grünert



ウルリケ・ツェヒ
Alto
Ulrike Zech



徳永ふさ子
Soprano
Fusako Tokunaga



淡野桃子
Soprano
Momoko Tanno



永島陽子
Alto
Yoko Nagashima



羽鳥典子
Alto
Noriko Hatori

ポエティック ハインリヒ・シュッツ合唱団・東京+ユビキタス・バッハ

3. J.S.BACH Kantate Nr.182

〈Himmelskönig, sei willkommen〉

バッハ・カンタータ〈天の王よ、来たりませ〉1714 BWV182

Soprano 徳永ふさ子 Fusako Tokunaga
Alto 永島陽子 Yoko Nagashima
Alto 羽鳥典子 Noriko Hatori
Tenore 武田正雄 Masao Takeda
Baritone 淡野太郎 Taro Tanno [Leipzig]

ハインリヒ・シュッツ合唱団・東京
Heinrich-Schütz-Chor Tokyo

指揮 ■ 淡野弓子
Leitung: Yumiko Tanno

ユビキタス・バッハ UBIQUITOUS BACH・1・3・

Vn 瀬戸瑠子 Yoko Seto Concertmaster
Trba 中村孝志 Takashi Nakamura
Fld/Fg 淡野太郎 Taro Tanno
Ob/Ob d'am 大木 務 Tsutomu Ohki
Ob/Ob da c 宮本忠昌 Tadamasu Miyamoto
Vn 小穴晶子 Akiko Koana
Va ダーヴィド・シッケタンツ David Schicketanz
Va 谷口 勤 Tsutomu Taniguchi
Vc 諸岡範澄 Norizumi Morooka
Vc 大軒由敬 Yoshinori Ohnoki
Cb 金子 豊 Yutaka Kaneko
Org 菅 哲也 Tetsuya Kan

Z-CHOR Tokyo [I]

ドレスデン聖母教会室内合唱団を迎えて [I]

Dresden & Tokyo レーガー Max Reger(1873-1916) Dein Wort, o Herr, wohnt weit 主よ、御言葉は広く永遠に
Orgel フレスコバルディ Girolamo Frescobaldi (1583-1643) Pertite sopra la Monica モニカによるパルティータ
Tokyo デマンツィウス Christoph Demantius(1567-1643)DEUTSCHE JOHANNES PASSION[1.Teil]ヨハネ受難曲 第一部
Dresden パーセル Henry Purcell(1659-1695) Remember not, Lord our offences 主よ、私達の罪を思い出さないで下さい
Tokyo シュッツ Heinrich Schütz(1585-1672) Herr, auf dich traue ich 主よ、あなたに依り頼みます
Dresden デマンツィウス Christoph Demantius(1567-1643)DEUTSCHE JOHANNES PASSION[2.Teil]ヨハネ受難曲 第二部
ホミリウス Gottfried August Homilius(1714-1785) Ich freue mich im Herrn わたしは主に喜ぶ
Unser Vater in dem Himmel 天にましますわれらの父よ
ブルックナー Anton Bruckner(1824 - 1896) Locus iste ここは神の定められしところ
Christus factus est キリストは死に至るまで従順で/Os justi 主に従う人の口は
Tokyo デマンツィウス Christoph Demantius(1567-1643)DEUTSCHE JOHANNES PASSION[3.Teil]ヨハネ受難曲 第三部
Dresden ラインベルガー Joseph Gabriel Rheinberger(1839-1901) Abendlied Opus 69, 3 タベの歌
Orgel メンデルスゾーン Felix Mendelssohn Bartholdy(1809-1847)Sonate VI d-moll Opus 65, 6
Choral/Variationen/Fuge/Finale ソナタ第六番 ニ短調 コラール/ヴァリエーション/フーガ/フィナーレ
Dresden & Tokyo レーガー Max Reger(1873-1916) Dein, o Herr ist die Kraft 主よ、あなたは力

Z-CHOR Tokyo [II]

ドレスデン聖母教会室内合唱団を迎えて [II]

2. J.S.BACH aus dem dritten Teil der〈Clavier Übung〉

「クラヴィア練習曲集 第三巻」より

オルガンソロ ■ マティアス・グリューネルト Orgel Matthias Grünert

Duetto I e-Moll デュエット ホ短調 BWV802
Duetto II F-Dur デュエット ヘ長調 BWV803
Duetto III G-Dur デュエット ト長調 BWV804
Duetto IV A-Dur デュエット イ長調 BWV805

3. J.S.BACH Kantate Nr.1〈Wie schön leuchtet der Morgenstern〉

バッハ・カンタータ〈げに麗しき暁の星〉1725 BWV1

ドレスデン聖母教会室内合唱団 Kammerchor der Frauenkirche

指揮 ■ マティアス・グリューネルト

Leitung: Frauenkirchenkantor Matthias Grünert

Soprano 淡野桃子 Momoko Tanno [Minneapolis]
Alto ウルリケ・ツェヒ Ulrike Zech [Dresden]
Tenore 武田正雄 Masao Takeda
Baritone 淡野太郎 Taro Tanno [Leipzig]

ユビキタス・バッハ UBIQUITOUS BACH

Fld 淡野太郎 Taro Tanno
Corno d c 足立悠司 Yuji Adachi / 高澤正輝 Masaki Takasawa
Ob d'am 大木 務 Tsutomu Ohki
Ob da c 宮本忠昌 Tadamasu Miyamoto
Vn 小穴晶子 Akiko Koana / 柿沼まさこ Masako Kakinuma
相馬祐子 Yuko Sohma / 大野 幸 Koh Ohno
Va 谷口 勤 Tsutomu Taniguchi / 高島麻子 Asako Takashima
Vc 大軒由敬 Yoshinori Ohnoki / 桜井京子 Kyoko Sakurai
Cb 金子 豊 Yutaka Kaneko Org 瀬尾文子 Fumiko Seo 他

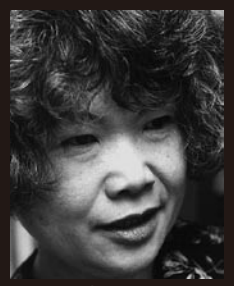
～本郷教会のオルガンは草苺徹夫制作の手ふいご式小型パイプオルガンです～



武田正雄 Tenore Masao Takeda
淡野太郎 Baritone/Fld/Fg Taro Tanno
瀬戸瑠子 Violin Yoko Seto
永井由里 Violin Yuri Nagai



ハインリヒ・シュッツ合唱団・東京
Heinrich-Schütz-Chor Tokyo



淡野弓子
Leitung: Yumiko Tanno

Profile

ドレスデン聖母教会室内合唱団 Kammerchor der Frauenkirche Dresden

ドレスデン聖母教会の室内合唱団は聖母教会カントール(教会合唱長)マティアス・グリュネルトによって2005年1月に誕生し、この年の受難節には聖母教会地下礼拝堂で最初の「アカベラ コンサート」が開かれ世間に知られる存在となった。以来ドレスデン聖母教会における礼拝、教会の祝典やコンサートでの演奏に従事。また聖母教会の教会音楽使節としてドレスデンはもとより、2005年秋にはストラズブル、ロルシュ、フルステンヴァルデへの演奏旅行を行った。室内合唱団のメンバー30名はプロフェッショナルとセミプロフェッショナルの歌い手で構成され、彼らは共にマティアス・グリュネルトの指導のもと、なによりもまず「アカベラ作品、そして17、18世紀のオラトリオ作品に献身的に取り組んでいる。また全メンバーが定期的な練習に加え、ドレスデンの名高いアルト歌手ウルリケ・ツェヒの発声指導を受けている。

Sopran	Norina Bamberg/Britta Esser/Christin Linße/Susanne Mellendorf/Marien Melzer Elke Pacholczak/Carola Roch/Juliane Schwirblat/Daniela Zierold-OTTO
Alt	Gabriela Geissler/Sylvia Liebscher/Erdmuth Roth/Ulrike Zech
Tenor	Oliver Kaden / Florian Kircheis / Christoph Münch Michael Peschke/ Hans-Martin Sachs/Franz Wöllick
Bass	Frieder Bamberg/ Christian Dost / Hans-Christian Hoch Christoph Meißner/ Ryan Orrock/Manfred Reich/Ehrhard Schmidt

マティアス・グリュネルト 聖母教会カントール Matthias Grünert Frauenkirkchekantor

1973年ニュルンベルク生。大学入学資格試験に合格の後、パイロイト教会音楽大学、さらにリュベク音楽大学に学び教会音楽A課程、声楽、コンサートオルガンを修める。学業のかたわらリュベクのドームでアシスタントを務め、ボーザウのルフトクロルトにある聖ペトリ教会の教会音楽家となる。2000～2004年グライツの中心に位置する聖マリア教会において管区カントールとして勤務、2003年にはパッハの全オルガン作品を演奏、またグライツ・パッハ週間のイニシアティブをとった。2004年ドレスデン聖母教会初のカントールとして招聘され、同年1月1日付けで就任。2000年の教会音楽家国際コンクールを始め、多くのオルガンコンクールで賞を獲得。オルガニスト、指揮者、チェンバリストとしての多くのコンサート、CD録音を行うほか、オルガン作品の編曲や教会音楽作品の初版譜の出版なども彼の芸術活動の一環である。

ウルリケ・ツェヒ Ulrike Zech [アルト]

バート・フランケンハウゼンに生まれる。先ず教会音楽を修め、その後ドレスデン音楽大学で声楽をCh.ユングハンス教授に師事。1994年ソリスト演奏試験及び大学主催のオペラ〈コン・ファン・トゥッテ〉のドラベッラ役をもって卒業。続いてアルテンブルク州立劇場の専属ソリストを務め、また多くの劇場に客演。すでに学生時代よりリート、オラトリオ歌手として活動。ドレスデン十字架合唱団を始め多くの合唱団、オーケストラに招かれ数多くの指揮者、オルガニストと共演。特に聖母教会カントール マティアス・グリュネルトとは集中的な共同作業が行われており、来シーズンにはグリュネルト指揮によるパッハのカンタータ、ロ短調ミサのソロが予定されている。ルネサンスから古典派、ロマン派、現代音楽におよぶ広範なレパートリーを持ち、ラジオ、TV出演、CD多数。

徳永ふさ子 Fusako Tokunaga [ソプラノ]

札幌生。北星学園女子高等学校音楽科および東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修士課程修了。ドイツ・デトモルト音楽大学に留学。その後4年間、アグネス・ギーベル(ケルン)のもとで内弟子として薫陶を受ける。現在はオラトリオ・カンタータのソリストとして、多くの合唱団と共演。北海道教育大学函館校非常勤講師、声楽伝習所「ゲザング・リーベ」主宰。混声合唱団 ハーモニー函館、女声合唱団 リバelta、女声アンサンブル ゲザング・リーベ各指揮者。

淡野桃子 Momoko Tanno [ソプラノ]

東京生。日大芸術学部音楽学科首席卒業。在学中ワシントン州立大学に交換留学。平成6年度読売新人演奏会に出演。1988-94年シュッツ合唱団メンバー。声楽を淡野弓子、嶺貞子、丹羽勝海、グレンダ・モリス、エリザベス・マンヨン各氏に師事。ミネソタ州立大学修士課程修了後3年間パリにてカミュー・モラヌ氏に師事しフランス歌曲を学ぶ。2000年にミネアポリスに移住。2003年オペラ「フィガロ」のズザン役で Theatre de la Jeune Lune にデビュー。現在シンガー/アクター/ダンサーとしてオペラ、ミュージカル、コンサートなどで活動中。

永島陽子 Yoko Nagashima [アルト]

桐朋学園大学卒業。ウィーン国立音楽大学、デトモルト国立音楽大学を最優秀で卒業。1986年ドイツ演奏家国家試験に最優秀で合格。1989年ライブツィヒ国際パッハ・コンクールで五位入選。1980年以來ヨーロッパ各地、イスラエル、日本で演奏活動。1997年の帰国後は多くの宗教作品のソロを務め、秋山和慶、三澤洋史、淡野弓子、クリスチャン・カーニンなど、指揮者からの信頼も厚い。1999年及び2001年、2004年にリーダーアーベント開催、好評を博す。桐朋学園大学音楽学部非常勤講師。

羽鳥典子 Noriko Hatori [アルト]

東京藝術大学卒業。同大学院修了。大学院在学中イタリア政府の奨学金を得てミラノ ヴェルディ音楽院に学ぶ。大学院修了後、ローリー財団の奨学金を得てイタリアのパドヴァに留学。CMA(パドヴァ古楽センター)において、L.Picotti率いる合唱団とともに、ローマ、ペルージャなどの都市で演奏。 ヴェルディ音楽院にてディプロマ取得後帰国。帰国後はイタリアバロック期の声楽作品の研究を続ける一方、「第九」「メサイヤ」などのソリストとして活躍。岡部多喜子、戸田敏子、淡野弓子、G.Barsanti、G.Canetti、L.Picottiに師事。JYD合唱団ヴォイストレーナー。

武田正雄 Masao Takeda [テノール]

愛知県生。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院独唱専攻修了。故寛義也、故柴田睦陸、高丈二、中村浩子各氏に師事。大学院在学中に大阪フランス音楽コンクール、日仏声楽コンクールで優勝。その後バリ音楽院、プール・ラ・レーヌ音楽院で研修、R.クレスパン、C.モラヌに師事。長年コンサート・シンガーとしての活動を続ける傍らバリ首都圏にて合唱指導活動。日本では、東京日仏学院における二回のフランス歌曲リサイタル、レクチュアコンサート、又パッハを始め古典派宗教作品のソリストを務める。2005年末、22年に亘るフランスでの活動に終止符を打ち、帰国して演奏・教育活動をする事となった。

淡野太郎 Taro Tanno [バリトン]

東京都立芸術高校を経て東京藝術大学声楽科卒業。この間、声楽を岡崎貴俊、佐々木正利、嶺貞子、リコーダーを守安功、濱田芳通、ファゴットを山上貴司の各氏に師事。1997年より度々渡欧、ケルンにてA.ギーベル女史、パリにてC.モラヌ氏、гентにてZ.ファンダステーネ氏に師事、さらにヘアフォルトのヴェストファーレン教会音楽大学にて声楽をS.シャマイト女史、リコーダーをE.シュヴァンダ女史、合唱指揮をH.ハーケ氏に師事。現在はライブツィヒを中心にドイツ各地及び日本で歌い手、リコーダー奏者として活動中。2004年よりライブツィヒ・ゲヴァントハウス・カンマーコアに在籍。

瀬戸瑶子 Yoko Seto [ヴァイオリン]

東京藝術大学を経てジュリアード音楽院に学ぶ。1975年小澤征爾の要請により新日本フィルのコンサートマスターに就任。日本初の女性コンサートマスターとして10年間にわたり数々の名指揮者を支えた。現在は独奏、室内楽の分野で演奏活動。1997年よりムシカ・ポエティカのコンサートマスターとして淡野弓子との共演が始まる。東京音楽大学講師。

永井由里 Yuri Nagai [ヴァイオリン]

桐朋学園音楽科を経てジュリアード音楽院に進み首席卒業。江藤俊哉、宗倫安、新井寛、J.フックス、N.ミルシュティンの各氏に師事。日本学生音楽コンクール小校の部第一位を始めとし数々の国際コンクールに優勝。ヨーロッパ、アメリカ各地で演奏、各紙の絶賛を受ける。ラジオ、TV出演のほか1997年よりコンサーツ イン 喜多見(後援：国本学園)及び2002年より由里PASSIONミュージックのコンサートを毎年開催(02、03東京文化会館、05相馬芸術文化村)するなど現在全国各地でコンサート活動を行っている。

諸岡範澄 Norizumi Morooka [チェロ]

東京生。国立音楽大学器楽科卒業。在学中にアーノンクルの生演奏に触れ独学でバロック・チェロの研究を始める。1993年ブルージュ国際古楽コンクール・アンサンブル部門(Trio von Beethoven)第1位受賞。内外の演奏家と数多くの演奏会、CDレコーディングに参加。「コンヴェルスム・ムジクム」「M.O.G」メンバー。1999年「古楽コンクール・山梨」審査員。2000年韓国国立ソウル芸術大学におけるバロック音楽セミナー、漢陽大学「コレギウム・ムジクム演劇」の指導者として招かれ、以後毎年訪韓。「栃木奏楽塾」講師、「東京五美術大学管弦楽団」「オーケストラMzima」指揮者。「オーケストラ・シンボシオン」指揮・音楽監督。

菅 哲也 Tetsuya Kan [オルガン]

国立音楽大学を経て1987年大学院音楽研究科(オルガン専攻)を修了。同年ドイツ学術交流会(DAAD)給費留学生として渡独。1989年ケルン国立音楽大学を最優秀のディプロムを得て卒業。オルガンを故古田寛、P.ノイマンの各氏に師事。ヨーロッパ、日本の各地で演奏活動。N響をはじめとするオーケストラ、合唱団との共演も数多い。国立音楽大講師。聖グレゴリオの家宗教音楽研究所講師。日本キリスト教団西東京教会オルガニスト。国際基督教大学オルガニスト。

ハインリヒ・シュッツ合唱団 Heinrich-Schütz-Chor Tokyo

1968年4月にハインリヒ・シュッツの作品の研究、紹介、演奏を中心課題とする合唱団として東京に発足。1985年、94年ドイツ演奏旅行を行い国際ハインリヒ・シュッツ祭にて演奏。1989年10月より12月計画で「シュッツ全作品連続演奏」がスタート、2001年10月1日全曲の演奏を終了。シュッツのみならず、ルネサンスから内外の現代作品まで広いレパートリーを持ち、1985年の柴田南雄(宇宙について)欧州初演、1990年のA.ベルト〈ヨハネ受難曲〉、2002年のC.レーヴェ 〈贖罪のいえにえ・新しい契約)日本初演はいずれも高い評価を受けた。2002年4月第3回ドイツ演奏旅行、2004年12月第4回ドイツ演奏旅行。これまでに、ハインリヒ・シュッツ・コア・ハイルブロン、フーゴー・ディストラー・コアベルリン、ドレスデン吹奏楽団ほか多くの海外の団体や演奏家と共演、交流を深める。

Sopran	今村ゆかり/大淵久実子/大森 純子/川辺 美佐/阪本 恭子/武井 紀子 巽 瑞子/玉井 千恵/淡野 桃子/西川真理子/山田みどり/山田由紀子
Alt	秋山百合子/石塚瑠美子/影山 照子/小西久美子/佐藤 道子/柴田 圭子 瀬尾 文子/田畑 玲子/中村 光子
Tenor	大森 雄治/淡野 太郎 野正人/武藤 和明/依田 卓
Bass	石井 賢/石塚 正/阪本 一郎/中村 誠一/春宮 哲

ユビキタス・パッハ Ubiquitous Bach

本郷教会(東京・上荻)における〈タベの音楽：Soli Deo Gloria・パッハ・カンタータシリーズ〉を活動の基盤とした器楽アンサンブル。プロ、アマを問わず各曲の楽器編成に応じてメンバーが集うシステムで、これまでに60-70名の器楽奏者が参加、30-40曲のカンタータが演奏されている。

淡野弓子 Yumiko Tanno [指揮]

東京藝術大学卒業後ドイツ・ヴェストファーレン教会音楽院に留学。1968年東京にハインリヒ・シュッツ合唱団を設立。1971年～74年音楽・デ・ジャネイロ、1978年～80年ワシントンDCにおいて合唱指揮活動。1984年東京に音楽グループ「ムシカ・ポエティカ」を組織、内外の音楽家とともに初演を含む多くの作品の研究と演奏に従事。1989年に〈シュッツ全作品連続演奏〉を開始し2001年10月1日全作品およそ500曲の演奏を終了。1998年復活節より日本キリスト教団本郷教会における〈タベの音楽：Soli Deo Gloria (ただ神にのみ栄光)〉の企画制作および演奏に携わる。ハインリヒ・シュッツ合唱団及びユビキタス・パッハ指揮者、「ムシカ・ポエティカ」代表。

ムシカ・ポエティカ 公式ウェブサイト http://www.musicapoetica.jp プレオープン中

Musica poetica レーベルにて初のCDリリース(3月中旬)

ハインリヒ・シュッツの音楽 vol.1 カンツォネス・サクレ 1625 Op.4 [全]
淡野弓子 指揮 ハインリヒ・シュッツ合唱団・東京 2枚組 ¥3000 製造・販売 コジマ録音